# 平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総	ま	ちづ	くりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評	局名	創造都市推進局
		政策		訪れたくなる観光・MICEの振興	価   担	課室名	観光エリア振興室
計画		が	策	観光客受入環境の整備	当	電話番号	087-839-2417
画体系			基本事業	観光施設等の効果的運営	事業	実施主体	市
糸			事務事業	男木島灯台資料館管理運営事業	事業	期間	平成 28年度~平成 35年度

### 【事業全体概要】

男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託し、観光客の利便を図り、リピーター向上に努める。

事業の概要

男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。

30年度 概要

重点取組事業 市長マニフェスト 事務事業の類型 インフラ・施設等維持管理

### 【事業の目的】

男木島への来島者数

対象(何を)

意図(どのような来島客の満足度の向上を図り、リピーターの確保を目指す

状態にしたいか)

#### 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
男木島灯台資料館開館日数	日		196	104	160	160
	l					

#### 【事業の成果】

	#未り以木 <b>』</b>							
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	施設利用者数	人/年	目標値		10,000	10,000	10,000	10,000
			実績値		9,353	6,319		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	12000						(海供应)
損	平成28年度は、瀬戸内国際芸術祭の効果も(目標達成度	10000			<u> </u>	<u> </u>		〔達成度〕
徐	平成28年度は、瀬戸内国際芸術祭の効果も あり、施設利用者数は大幅に増加したが、昨 年度は目標値に届かなかった。	8000 6000						63.2%
		4000	-					
	- Va5	2000		1	1 1	I I		22点
		Η̈́2	5 H26	H27	H28 H29	H30 H31	H32 L	
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	1						(海供应)
指	(目標達成度	<u> </u>						〔達成度〕
信								
				1	1 1	1 1		
		Η̈́Z	5 H26	H27	H28 H29	H30 H31	H32 _	

#### 【コストの推移】

	指標名	単位	平成27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成30年度(予算)			
I	トータルコスト	[千円]	3,514	3,896	2,956	3,193			
ı	(事業費)	[千円]	2,286	2,640	1,742	1,979			
1	(職員人件費)	仟円1	1 228	1.256	1.214	1.214			

### 【評価】

評価ランク		今後の方向性	改善継続
(A~D)	C	( 拡充、継続、改善継続、縮小、廃止 )	以当处规

# 【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

男木島灯台資料館の管理運営等を行った。平成28年度は、瀬戸内国際芸術祭の効果もあり、施設利用者数は大幅に増加したが、昨年度の施設利用者数は、瀬戸内国際芸術祭以前の水準よりも少なかった。今後は、瀬戸内国際芸術祭非開催時の集客方法及び施設の老朽化の進行に伴う修繕のコスト縮減について検討する必要がある。

# 【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

施設の老朽化が進んでいることから、効果的なファシリティマネジメントについて取り組む。また、効果的な誘客方法について検討を進める

# 平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総	ŧ	ち	ゔ	くりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価	局名	創造都市推進局	
合Ⅰ		政策			訪れたくなる観光・MICEの振興		課室名	)名 観光エリア振興室	
計画体		ſ	施	策	観光客受入環境の整備	担当	電話番号	087-893-0148	
				基本事業	観光施設等の効果的運営	事業	実施主体	その他	
系				事務事業	観光案内所管理運営事業	事業	期間	平成 28年度~平成 35年度	

## 【事業全体概要】

本市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報の提供等を行い、旅行者の利便の向上に資するため、塩江町インフォメーションセンターの運営を行う。 業 の 概

# 30年度 概要

重点取組事業 市長マニフェスト 事務事業の類型

### 【事業の目的】

市民及び県外からの観光客等対象(何を)

意図(どのような 観光案内や観光情報の提供により、本市を訪れる観光客の利便を図ることによって、観光客の満足度を向上させ、 状態にしたいか) リピーターの増加につなげる。

### 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
塩江町インフォメーションセンター開館日	日		311		311	311
	I					

#### 【事業の成果】

<u> </u>	P耒の以未 】								
	成果指標名(どのような成果が得られた	<b>こか)</b>	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	塩江町インフォメーションセンター利用者数	人	目標値		6,0	00 6,225	6,450	6,900	
-				実績値		5,9	58 5,310		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成	戊できたか)	8000					——	(達成度)
指	目標を若干下回る結果となった。	(目標達成度)	6000			<u></u>			`
作示			4000-					L	85.3%
		all line	2000						. 11
			ل		1				29点
			H2	5 H26	H27	H28 H29	H30 H3	1 H32 L	
	成果指標名(どのような成果が得られた	こか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
				目標値					
				実績値					
県	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成	艾できたか)	1_					<u> </u>	(達成度)
成果指標		(目標達成度)							(连队反)
作示									
			ل			1 1			
			H2	5 H26	H27	H28 H29	H30 H3	1 H32 L	

## 【コストの推移】

	指標名	単位	平成27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成30年度(予算)
I	トータルコスト	[千円]		9,854	872	
ı	事業費)	[千円]		9,697	720	
ı	(職員人件費)	[千円]		157	152	

## 【評価】

評価ランク	D	今後の方向性	継続
( A ~ D )	D	(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	紅和

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

活動指標は達成したが、隣接する行基の湯が大規模改修に伴い休館していることもあり、利用者数が若干減少している。

# 【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今後とも、塩江地区の観光全般を熟知する塩江温泉観光協会に事業を委託し、継続実施することが必要である。